

住まい判断整理ワーク

65歳から、もっと自由に生きるための判断軸

はじめに

移住が正解なのか。

今の家に住み続けるべきなのか。

多くの人がここで迷います。

しかし実際には、

「移住先が決まらない」

のではなく、

「自分が何を優先したいのか整理できていない」

ことが少なくありません。

このワークは、

答えを出すためのものではありません。

自分の条件を整理するためのワークです。

STEP1

今の住まいへの満足度

各項目を5点満点で評価してください。

項目	点数
買い物の便利さ	
病院への通いやすさ	
交通の利便性	
周辺環境	
騒音の少なさ	
近所付き合い	
住居費負担	
趣味のしやすさ	
将来の安心感	

合計点： _____ 点

STEP2

今の住まいへの違和感

気になることを書き出してください。

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

STEP3

本当に移住したい理由は何か

当てはまるものに○を付けてください。

家が狭い

- 家が広すぎる
- 老後資金が不安
- 固定費を下げたい
- 家庭菜園をしたい
- 海の近くに住みたい
- 温泉地に住みたい
- 自然の中で暮らしたい
- 人間関係を変えたい
- 第二の人生を始めたい
- その他

STEP4

優先順位を決める

次の中から上位3つを選んでください。

- 利便性
- 医療環境
- 自然環境
- 温泉
- 海
- 家庭菜園
- 趣味

- コミュニティ
- 住居費
- 子どもとの距離
- 孫との距離
- 災害リスク
- 将来の資産価値

順位

1 位 : _____

2 位 : _____

3 位 : _____

STEP5

5 年後の理想を考える

65 歳～70 歳の自分を想像してください。

どこで暮らしていますか？

どんな 1 日を送っていますか？

何を楽しんでいますか？

STEP6

移住しない場合

今の家に住み続ける場合、

改善できることを書き出してください。

STEP7

移住する場合

移住するとしたら、

絶対に譲れない条件は何ですか？

条件①

条件②

条件③

STEP8

判断整理シート

今の自分に近いのはどちらですか？

- 移住したい
- 移住したいか分からない
- 今の家で十分かもしれない

理由

最後に

住まい選びに正解はありません。

重要なのは、

「どこに住むか」

ではなく、

「どんな暮らしをしたいか」

です。

場所は手段です。

まずは、

自分が何を大切にしたいのか。

そこから整理してみてください。

【連載】

65 歳から、もっと自由に生きるための判断軸

住まい・移住シリーズ